

2010年 9月 8日
NPO 知的資源イニシアティブ

関係各位

Library of the Year 2010 優秀賞の決定および最終選考について

「Library of the Year (ライブラリー・オブ・ザ・イヤー) 大賞・優秀賞」は、これからの日本の公共図書館のあり方を示唆する、先進的な活動を行っている機関(図書館に限らない)に対して、特定非営利活動法人 知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する賞です(今年度は図書館総合展運営委員会が主催し、IRIが企画運営を担当します)。

2010年は、IRIメンバーおよび外部推薦で寄せられた11施設・団体・サービスの中から、下記の3機関が優秀賞に選ばれ、大賞の最終選考対象となりました。

●京都国際マンガミュージアム

京都市と京都精華大学の官民共同事業モデルとして、立地を活かした観光客もターゲットにしたサービス・イベントを積極的に展開している点、豊富な漫画資料を所蔵して国内の類例機関の嚆矢となった点が評価されました。

〒604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校)

電話:075-254-7414(代)

<http://www.kyotomm.jp/>

●神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ事業

国内研究機関有数のデジタルアーカイブ事業として戦前の新聞記事や震災関係資料等のコンテンツが充実している点、教員が作成したデータを、退職後に図書館が引き継いで事業化している点などが評価されました。

神戸大学附属図書館 電子図書館係

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 社会科学系図書館内

電話 078-803-7333

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/dlib/>

●カーリル

全国5,000館を超える図書館・図書室蔵書の横断検索サービスとして、従来の図書館系のサイトWebサービスを凌駕している点、図書館界に留まらず大きな話題となった点が評価されました。

<http://calil.jp/>

また、初の試みとして、優秀賞以外に図書館界に特に影響を与えた館に対して「特別賞」を授与することとなりました。

●置戸町生涯学習情報センター

「過疎の町における図書館」のモデルの一つとして、過疎地域自立促進特別措置法における地方債（過疎債）の対象に図書館が含まれるようになったことに貢献したことが評価されました。

〒099-1118 北海道常呂郡置戸町字置戸 445-2

電話:0157-52-3202

<http://www.town.oketo.hokkaido.jp/tosyo/>

なお、上記の受賞機関の詳細につきましては、9月に「本のある時間」
<http://www.timewithbooks.com/>にて紹介いたします。

<最終選考について>

2010年11月26日（金）午後1時00分～2時30分、パシフィコ横浜（横浜市みなとみらい）にて、今回決定した優秀賞3機関を対象として、最終選考を公開いたします。最終選考では、各機関についてIRIメンバーがプレゼンテーションを行ない、ディスカッションを経て、審査員7名（選考会一般参加者票1を含む）による投票によって大賞を決定します。合わせて、大賞及び優秀賞、特別賞の表彰式を行ないます。

この最終選考会は、パシフィコ横浜で開催される第12回図書館総合展（11月24日～26日）の一環として行なわれます。入場無料です。

<Library of the Yearについて>

「Library of the Year」は、IRIの選考を担当するグループ（座長：慶応義塾大学教授 糸賀雅児）が中心となり、図書館など全国の知的情報資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

選考基準は、以下のとおりです。全国の公共図書館を総合的に評価して、ベストの図書館を決めるものではありません。

- ① 今後の公共図書館のあり方を示唆する先進的な活動を行なっている。

- ② 公立図書館に限らず、公開された図書館的活動をしている機関、団体、活動を対象とする。
- ③ 最近の1～3年間程度の活動を評価対象期間とする。

過去の授賞館は以下の通りです（詳しくは IRI ホームページ内“Library of the Year”をご覧ください <http://www.iri-net.org/loy/>）。

第1回 Library of the Year 2006 大賞は、鳥取県立図書館へ授賞しました。県全域を対象として、学校、企業、公的機関など様々な県内の機関と連携しながら、地域に関わって活動することにより、地域の役に立つ図書館をめざす、というこれからの図書館のあり方を示した点を評価しました。

（ノミネート機関は、アカデミーヒルズ六本木ライブラリー、諫早市立たらみ図書館、農林水産研究情報総合センター）

第2回 Library of the Year 2007 大賞は、愛荘町立愛知川図書館へ授賞しました。図書館員がそれぞれの専門分野を持ち、町づくりに積極的に関わっている点を評価しました。

（優秀賞は、横芝光町立図書館、矢祭もったいない図書館、静岡市御幸町図書館）

第3回 Library of the Year 2008 大賞は、千代田区立千代田図書館へ授賞しました。都心型図書館の新しいモデルとなることを意識し、図書館コンシェルジュ、古書店と連携した展示・販売仲介、電子図書貸出サービスなど数多くの新規サービスを展開し、地域の様々な機関との連携を進めたことを評価しました。

（優秀賞は、ジュンク堂書店池袋本店、恵庭市立図書館、旅する絵本カーニバル）

第4回の Library of the Year 2009 大賞は、大阪市立中央図書館へ授賞しました。HPが4か国語で作られるなど「開かれた図書館」を実践している点、データベースの数が多く利用が簡単であるなど、図書館でのデータベース利用のモデルを示している点を評価しました。

（優秀賞は、奈良県立図書情報館、渋沢栄一記念財団 実業史研究情報センター）

■お問い合わせ先 IRI 事務局 info@iri-net.org

IRI ホームページ <http://www.iri-net.org/loy/>